

# 高齢者向け入居施設選びのポイント

株式会社パセリ メディケア事業部 マネジャー  
脇 俊介氏



## 脇俊介氏プロフィール

2004年に株式会社パセリ入社。入社以来、営業部門にて「スクール検索サイト BrushUP学び」のコンサルティング営業を担当。制作ディレクター、グループマネジャーを歴任。2014年からは新事業部「メディケア事業部」のマネジャーとして、明治安田システム・テクノロジー株式会社との業務提携を行い、介護施設WEB検索コンテンツ「MY介護の広場 老人ホームを探す」サービスを開始。現在は入居相談員として、施設探しにお困りの方のサポートを行い実際に見学の同行やアドバイス等もしている。

## 主な高齢者向け施設の概要

当社は、先ほど蔵本様のお話にもありました「MY介護の広場」というサイトの中の「老人ホームを探す」という検索のコンテンツを提供しています。私は、高齢者向け施設を探している方から電話や対面で相談を受けており、施設見学の同行などのサポートも行っています。本日は、施設の種類や施設選びのポイントについて、お話をさせていただきます。

施設の種類ですが、一言で施設といっても相当種類があります。本日は、主な施設として6つ紹介させていただきます。

まず、「介護付き有料老人ホーム」ですが、一般に老人ホームと呼ばれる施設です。施設のスタッフから適切なケアを受けながら、生活をします。少なからず、入居一時金や月額利用料がかかります。まれに、入居一時金が1億円以上もかかる施設もある一方、0円の施設もあります。

次の「住宅型有料老人ホーム」は、どちらかという自宅の意味合いが強くなってきます。介護が必要になった時は外部にサービスを依頼し、施設内で介護を受けながら生活をします。どちらかという自立した、お元気な方向けの施設が多い印象です。(図4-1)

図4-1

### 主な介護施設の種類

#### 介護付き有料老人ホーム

入居要件：概ね要支援1もしくは要介護1～要介護5の方まで  
入居一時金：0円～1億円以上必要な老人ホームもあります。  
月額利用料：15万円～

施設内の介護スタッフからその方にとって必要なケアを受けながら生活することが可能です。

#### 住宅型有料老人ホーム

入居要件：概ね自立から要介護5の方まで  
入居一時金：0円～1億円以上必要な老人ホームもあります。  
月額利用料：15万円～

介護が必要な方は外部の介護サービスを利用しながら生活することが可能です。

「サービス付き高齢者向け住宅」、「サ高住」という略称を聞いたことのある方もおられるかもしれませんが、こちらは、簡単に言うと高齢者向けの賃貸住宅です。高額な入居一時金はほぼ必要ありませんが、通常の賃貸住宅と同様に家賃2、3ヵ

月分の敷金が必要になるケースがあります。介護が必要になった時は、先ほどの「住宅型有料老人ホーム」と同様に、外部のサービスを受けながら生活することになります。

「グループホーム」は入居要件が細かく、要支援2以上で認知症の診断があり、施設と同じ市区町村に住民票のある方が対象となります。だいたい8人から9人程度の認知症の方が共同生活を送っています。(図4-2)

図4-2

主な介護施設の種類	
<b>サービス付き高齢者向け住宅 (サ高住)</b>	
入居要件:	概ね自立から
入居一時金:	高額な入居一時金は必要ありません。
月額利用料:	10万円～
高齢者向けの賃貸住宅。介護が必要な方は外部の介護サービスを利用しながら生活することが可能です。	
<b>グループホーム</b>	
入居要件:	要支援2以上また認知症の診断があり、住民票が同市区町村にある方
入居一時金:	必要のない施設がほとんどです。
月額利用料:	15万円～
認知症をお持ちの方が8人から9人くらいで共同生活を送る施設になります。	

「特別養護老人ホーム」、よく「特養」と言われます。近年入居要件が変わり、要介護3以上の方しか入居できません。「特養待ち」ということばをよく聞かれることと思いますが、現在、日本全国で入居待ちの方が約30万人いるという報道もあります。入居希望しても、すぐに簡単に入居できる施設ではなくなっています。

「介護老人保健施設」、略して「老健」と呼ばれる施設ですが、こちらは先にご紹介した5つの施設とは、ちょっと意味合いが異なります。例えば、病院に入院して治療の後、退院したいのだが、まだ在宅での生活に不安のある方が一時的に入所して、リハビリを行いながら在宅復帰を目指す施設です。よって、ずっと居られる施設ではなく、3ヵ月から6ヵ月程度を目安に退所指導が行われます。(図4-3)

図4-3

主な介護施設の種類	
<b>特別養護老人ホーム (特養)</b>	
入居要件:	要介護3から
入居一時金:	必要ありません。
月額利用料:	7万円～
原則要介護3以上の認定を受けている方が入居可能。「特養待ち」という言葉があるほど入居に時間がかかる場合が多い。	
<b>介護老人保健施設 (老健)</b>	
入居要件:	要介護1から
入居一時金:	必要ありません。
月額利用料:	7万円～
病院からの退院後など在宅での生活に不安のある方が在宅復帰を目指すための施設。通常3ヵ月を目安に退所指導が行われます。	

6つの施設をご紹介しましたが、施設の種類はかなりありますので、入居を考えている方にとってどのような施設が適切かを良く考えて施設探しをすることが重要です。

施設に関してよくある質問のうち、代表的なものを2点挙げます。

まず「施設にお医者さんはいますか」という質問です。ほとんどの施設には、お医者さんはいません。いるとすれば看護師ですが、看護師がいない施設も中にはありますし、看護師が24時間いる、あるいは日中帯しかいないなど施設によって様々です。入居を考えている方は、医療的なケアをはじめ、どういったケアが必要かをよく考えて施設を選ぶ必要があります。

次に「リハビリを受けることができますか」という質問もかなりあります。「老健」を除き、ほとんどの施設で本格的なリハビリは受けられないとお考えいただいてもよろしいかと思います。もし、有料老人ホームで、ずっとリハビリを受けたい場合は、例えば理学療法士や作業療法士などのリハビリの専門スタッフが常駐している施設を選ぶことが重要です。(図4-4)

図 4 - 4

**介護施設に関してよくある質問**

**Qドクターは施設に常駐していますか？**

ドクターが常駐している施設はほとんどありません。多くの施設で訪問診療の形をとっています。

介護付き有料老人ホームや特別養護老人ホームには**看護師**の配置義務がありますが、ほとんどの施設では**日中帯のみの配置**になります。もし入居検討者が夜間帯に医療的ケア（痰の吸引やインシュリン投与など）が必要な場合は**看護師が24時間常駐している施設**を選ぶ必要があります。

**Qリハビリを受けることはできますか？**

**老健**は在宅復帰を目指すための施設ですので本格的なリハビリを受けることができますが、**有料老人ホーム**や**サ高住**ではそこまでのリハビリを受けられる施設は多くありません。

もし有料老人ホームなどでリハビリを受けたい希望がある場合は、**理学療法士**や**作業療法士**などリハビリの専門スタッフを配置している施設を選ぶ必要があります。

図 4 - 5

**急な施設検討で慌てない為のポイント**

私たちのところに相談に来られる方のほとんどが、入居検討者が入居を拒否されているケースです。具体的に検討せざるを得なくなった際に慌てない為のポイントをご紹介します。

**ご予算の把握**

介護施設の入居には決して安くはない金額が毎月かかってきます。また入居一時金（前払金）が必要になる施設もございますので、そのような場合に備えて**年金額**や**預貯金**などを予め把握しておくことが大切になります。

**エリアの希望**

入居検討者が家族と同居もしくはお近くに住んでいる場合はあまり問題になりませんが、遠方に住んでいる場合は、どこで施設を探すかがポイントになります。**施設を入居検討者の自宅付近で探すか、家族の近くに呼び寄せるのか**を確認しておくとうまいでしょう。

## 入居施設検討の際の心構えと準備

当社への施設相談の多くが、急に施設を探すことになったというケースです。たとえば、入居検討者が転倒によるけがで入院後、退院を促されてはいるけれども、在宅での生活は難しそうなので、急遽施設を探さなければならなくなったという事例です。このような場合、慌てて施設探しを行ってしまう方が多いのですが、慌てずに施設探しをするためのポイントをご紹介します。

まず、予算の把握です。できれば入居希望者の資産や年金で費用を賄えるのが良いと思いますので、年金額や預貯金などの資産を予め把握しておくことが重要となります。

もう1点は、エリアです。ご本人の自宅の近くを希望するのか、ご家族の家の近くを希望するのかを予め決めておくとうまいと思います。（図 4 - 5）

入居することになっても、本人が入居を拒否するケースがよくあります。入居拒否を100%防止することはできませんが、少しでも入居拒否を防止するためのポイントをご紹介します。

施設に「閉じ込められる」「自由がない」「汚い」、場合によっては「捨てられる」というイメージを持つ方も多いと思いますが、最近の有料老人ホームなどの施設は清潔で、生活を楽しむためのレク

リエーションもかなり充実しているところが増えています。

そこで、施設への入居がまだ必要でない段階でも、お元気なうちに近所の有料老人ホームなどの施設を見学されることをお勧めします。こうした見学によって、施設へのイメージが変わったという方も結構多いです。

本日のセミナーでは、「先回り」というキーワードが頻繁に出ていますが、施設への入居の検討においても事前の心構えや準備などの「先回り」が重要です。（図 4 - 6）

図 4 - 6

**急な施設検討で慌てない為のポイント**

**お元気なうちに見学に行かれるのも良い**

現在入居を検討されている方の介護施設に対するイメージは「閉じ込められる」「自由がない」「汚い」といったものが大半を占めています。そのため入居を拒否してしまうケースが多いのが現状です。

ただ最近の介護施設は綺麗などころもあり、**生活を楽しむためのレクリエーション**も豊富に用意している施設も多々あります。

少しでも介護施設へのイメージを良くしてもらうために、まだ入居を検討する必要がない時期から**お近くの介護施設へ見学に行かれる**のもお勧めします。

 **事前の心構えと準備が大事！**

## 施設見学の際の重要ポイント

次に、施設見学の際の重要ポイント3点をご説

明します。

1点目は、現場スタッフの対応。最近では施設での事件や事故も発生していますし、実際にケアをするスタッフの様子を確認することは、やはり重要です。

2点目は、入居している方の状況。入居後に施設を出たいと言われてしまうケースもありますので、入居者の平均介護度などが入居検討者と近い施設をお勧めします。

3点目は、食事。食事は、毎日施設でとること

になりますので、食事が合わないと生活がつまらなくなってしまいます。最近では施設見学の際に試食のできる施設も多くありますので、試食付きの見学をお勧めします。(図4-7)

高齢者向け施設を探すことは、私たちが家を探すこととは勝手が違います。施設の種類も多く、介護保険制度もからみますので、施設探しは複雑になりがちです。もし施設探しで、お困りの方がおられましたら、遠慮なく当社にお申し付けください。(図4-8)

図4-7

施設見学で見えるポイント	
<b>現場スタッフの対応</b>	
入居後は働いているスタッフと常に関わりますので、スタッフが入居者とお話をしたり、笑顔で接しているかといった雰囲気を確認します。また見学時にスタッフからの挨拶の有無も、運営会社の教育によって差がでできます。	
<b>入居している方の状況</b>	
入居予定者が元気な場合、施設に入居されている方の平均介護度が高い施設だと、交流が持てないケースがあります。入居後に「施設を出たい」と言われることもありますので、施設の平均介護度や元気な方の割合など、入居予定者の状態に合わせて確認が必要です。	
<b>設備や食事</b>	
掃除が行き届いていない様子が見られた場合、職員が不足して対応が出来ていない可能性があります。またお食事は入居者の楽しみの一つなので、お食事付きで見学することをお勧めします。	

図4-8

最後に・・・
介護施設探しは自分たちの家を探すこととは勝手が違い、介護保険制度や施設種類の多さもあって複雑になりがちです。
皆様の介護施設探しに少しでもお役に立てるようサポートしています。
もし介護施設探しでお困りの方がいらっしゃいましたら遠慮なくお申し付けください。
ご清聴ありがとうございました。